

令和3年度農林水産技術会議開催結果

自然環境保全センター

開催日	令和4年2月14日 ～3月10日	開催場所	自然環境保全センター（書面開催）
部会名	研究成果評価部会		
評価課題	ブナ林再生事業の推進に向けたブナハバチモニタリング		
評価委員	東海大学 名誉教授 国立研究開発法人森林総合研究所昆虫生態研究室 室長 宇都宮大学農学部 准教授 神奈川県森林協会 専務理事		
評価概要	<p>1 研究の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説を立てて検証する科学的なアプローチにより、考えられる要因を探る一連の研究課程がすべての委員により評価された。 ・地道なモニタリングの継続により、長期的な自然現象を解明と、「丹沢ブナ林再生指針」において示されたブナハバチ対策の考え方を検証し、更新していくことに資する研究であることが評価された。 <p>2 研究成果の普及について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文公表等の学術面での積極的な成果普及が評価された。 ・「丹沢ブナ林再生指針」のような普及冊子により、研究成果が県民等に還元されていることが評価された。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然現象の解明には長期的なモニタリングが不可欠となることから、これまで実施してきた各種モニタリングを継続して実施する必要性と研究の意義を理解しやすくするため、得られた成果が、ブナ林再生という目標の達成に向けた対策手法の開発にどのように活かされるのか、そのロードマップを示すべきとの指摘があった。 ・得られた成果による「丹沢ブナ林再生指針」の改良・更新と研究体制について、プロジェクト研究の適切なマネジメントと、進展に応じた柔軟な体制の編成が求められた。 		